



CHAPTER 14

インベントリの管理

Cisco Prime Collaboration Manager は、デバイス インベントリの継続的なリアルタイム検出を保持します。Prime CM のインベントリには、ビデオ コラボレーション ネットワーク内で実行される追加、削除、および修正がすべて自動的に反映されます。

Prime CM では、デバイス タイプに基づいてデバイスがグループ化されます。[Device Group] ペインは、[Device Inventory]、[Session Monitoring] (フィルタ)、[Endpoint Monitoring]、[Alarms]、[Events] の各ページで使用できます。確認したい特定のグループからデバイスまたはエンドポイントを選択して、インベントリの詳細、モニタ セッション、エンドポイント、アラーム、イベントを確認できます。

複数のデバイス (最初の 500 個の項目) を選択するには、[Current Inventory] ペインの左上隅にあるチェックボックスを使用します。

デバイスごとに、[Edit] または [Customize Events] を使用することによって、デバイスの可視性設定とイベント設定を変更することができます。デバイスの可視性設定は、デバイスが管理対象状態である場合にのみ変更できます。デバイスの管理は、一時停止や再開ができます。インベントリは、一時停止状態のデバイスでは更新されません。

Prime CM は、管理対象デバイスのオンデマンド インベントリ更新をサポートします。デバイスの状態はインベントリ収集に基づいて更新されます。すべての管理対象デバイスのインベントリをエクスポートできます。

インベントリ詳細の表示

Prime CM により管理される各デバイスは、デバイス (インターフェイスおよびペリフェラル) の物理インベントリを表示できるようになっています。デバイスのインベントリ詳細を表示するには、[Current Inventory] ペインの行をクリックします。

表 14-1 Current Inventory

フィールド	説明
Endpoint Name	識別を容易にするためにエンドポイントに割り当てられた名前。
Host Name	識別を簡単にするためにデバイスに割り当てられる名前。
Device Type	Switch、CTS などのデバイス タイプとメーカー名。
Device Model	Catalyst3506G48PS などのデバイス モデル。
IP Address	デバイスを管理するために使用される IP アドレス。 IP アドレスをクリックすると、そのデバイスにログインできます。 ルータおよびスイッチの場合、デバイスにログインするためには、Putty などの端末クライアント アプリケーションを関連付ける必要があります。

表 14-1 Current Inventory (続き)

フィールド	説明
Software Type	デバイスで実行中のソフトウェア (IOS、CatOS など)。
Software Version	デバイスで実行されているソフトウェア バージョン。
State	Prime CM 管理対象デバイスのステータス。
Last Discovered	デバイスが最後に検出された日時。
Visibility	<ul style="list-style-type: none"> • [Not Applicable] : リアルタイム可視性機能は、このデバイスではサポートされていません。 • [Limited] または [Full] 可視性 : このステータスは、可視性設定に基づいたエンドポイントにのみ表示されます。 <p>詳細については、「エンドポイントのリアルタイム可視性」(P.15-12) を参照してください。</p>
Customized Events	<ul style="list-style-type: none"> • 緑のチェックマーク表示 : イベント設定が、[Customize Events] タブを使用して、デバイス用にカスタマイズされていることを示します。 • 緑のチェックマーク表示なし : イベント設定が、デバイス用にカスタマイズされていないことを示します。このデバイスはグローバル設定を使用します。
Mediatrace Role	<ul style="list-style-type: none"> • [Unsupported] : デバイスは Cisco Mediatrace をサポートしません。 • [Transparent] : デバイスは Cisco Mediatrace をサポートしますが、プロファイルが設定されていません。 • [Responder] : Cisco Mediatrace の応答側プロファイルがデバイスでイネーブルにされています。Cisco Mediatrace の情報をモニタおよび収集する場合、このプロファイルをイネーブルにする必要があります。 • [Responder] : Cisco Mediatrace の発信側プロファイルがデバイス上でイネーブルにされています。Cisco Mediatrace セッションまたはポールを開始する場合、このプロファイルをイネーブルにする必要があります。 • [Initiator/Responder] : Cisco Mediatrace の発信側および応答側プロファイルがデバイスでイネーブルにされています。

表 14-1 Current Inventory (続き)

フィールド	説明
IP SLA Role	<ul style="list-style-type: none"> [Unsupported] : デバイスは Video IP SLA をサポートしません。 [Not Configured] : デバイスは Video IP SLA をサポートしますが、Video IP SLA は設定されていません。 [Responder] : デバイス上で IP SLA レスポンダのプロファイルが設定されています。このプロファイルが設定されているデバイスでは、測定パケットの処理が行われ、詳細なタイムスタンプ情報を取得できます。 <p>応答側は、宛先デバイスの処理遅延に関する情報を、発信元の Cisco ルータに送信できます。</p>
Performance Monitor	<ul style="list-style-type: none"> [Unsupported] : デバイスは Cisco Performance Monitor をサポートしません。 [Not Configured] : デバイスは Cisco Performance Monitor をサポートしますが、Cisco Performance Monitor は設定されていません。 [Configured] : Cisco Performance Monitor がイネーブルになっているため、ネットワーク内のパケットフローをモニタし、そのフローに影響をおよぼす可能性がある問題点を認識できます。

システム情報

[System Information] ペインには、TelePresence Server を除くすべてのデバイスについて、次のような詳細情報が表示されます。

フィールド	説明
Object ID	エンドポイントのシステム オブジェクト ID。
Up Time	デバイスの実行が継続している時間。
Contact	エンドポイントのコンタクト詳細。
Location	エンドポイントのシステム ロケーション。

アクセス情報

[Access Information] ペインには、すべてのデバイスについて、次のような詳細情報が表示されます。

フィールド	説明
Credential Profile Name	検出時に使用される、選択したデバイスのクレデンシャル プロファイル。
SNMP Access Level	クレデンシャル プロファイルで SNMP クレデンシャルが定義されている場合は、[Read Only] が表示されます。
SNMP Version	[Credential Profiles] で定義される SNMP バージョン。

フィールド	説明
CLI Access Level	CLI クレデンシャルが定義されている場合、Prime CM ではアクセス レベルが [Read Only] であるか [Read Write] であるかのチェックが行われます。この結果に基づいて、適切な値が表示されます。 Prime CM でクレデンシャルが必須でない場合、このフィールドは表示されません。
HTTP Access Level	クレデンシャル プロファイルで HTTP クレデンシャルが定義されている場合は、[Read Only] が表示されます。 Prime CM でクレデンシャルが必須でない場合、このフィールドは表示されません。
JTAPI Access Level	クレデンシャル プロファイルで JTAPI クレデンシャルが定義されている場合は、[Read Only] が表示されます。 Prime CM でクレデンシャルが必須でない場合、このフィールドは表示されません。

インターフェイス情報

[Interface Information] ペインには、CTS、Cisco Codec、CTMS、MCU、MSE、Cisco TelePresence Server、およびネットワーク デバイスについて、次のような詳細情報が表示されます。

フィールド	説明
Physical Address	デバイスの物理アドレス。
Name	デバイスの名前。
Type	デバイスのタイプ。
MTU	最大伝送単位。このインターフェイスで処理できる最大パケット サイズ (バイト単位)。
Speed	デバイスの速度 (Mbps 単位)。
CDP	CDP がイネーブル (True) かディセーブル (False) かを示します。
Operational Status	デバイスの動作状態。
Admin	インターフェイスの管理ステータス。

イベント設定

[Event Settings] ペインには、エンドポイントおよびインフラストラクチャ デバイスに関する次の詳細が含まれています。

フィールド	説明
セッション	
Name	しきい値が設定されたパケット損失、ジッター、遅延。
Minor Threshold	比較的重大ではないアラームのしきい値を表示します。
Major Threshold	やや重大なアラームのしきい値を表示します。
Critical Threshold	重大なアラームのしきい値を表示します。
Enabled	有効または無効なイベント。
Automatic Troubleshooting	有効になっていると、イベントの重大度が表示されます。

フィールド	説明
エンドポイント	
Category	エンドポイントやサービス インフラストラクチャなどのカテゴリ。
Alarm Condition	アラームのトリガーを定義する条件。
Enabled	有効または無効なイベント。
Severity	重大度 ([Critical]、[Major]、または [Minor]) が表示されます。

すべてのエンドポイントで、Rx パケット損失、ジッター、遅延にデフォルトのしきい値が設定されています。詳細については、[デフォルト イベント設定](#)を参照してください。デフォルト値をカスタマイズするには、「[自動トラブルシューティングの有効化](#)」(P.19-3)を参照してください。

[Current Inventory] テーブルの [Customize Events] を使用して、単一または一連のエンドポイントについて、これらの設定をさらにカスタマイズすることができます。詳細については、「[エンドポイントのイベント設定のカスタマイズ](#)」(P.19-2)を参照してください。

デバイス固有のインベントリの詳細

次の表は、インベントリに関するその他の詳細情報について説明したものです。

- [CTS](#)、[Cisco Codec](#)、[MX](#)、[E20](#)、[MXP](#)、および [Polycom](#)
- [Cisco TelePresence Movi](#)
- [Cisco Unified IP Phone 8900](#) および [9900 シリーズ](#)と [Cisco Cius](#)
- [CTMS](#)
- [CTS-Manager](#) および [TMS](#)
- [Cisco Unified CM](#)
- [MCU](#) および [MSE](#)
- [Cisco VCS](#)
- [Cisco TelePresence Conductor](#)

CTS、Cisco Codec、MX、E20、MXP、および Polycom

フィールド	説明	
TelePresence Endpoint 選択したエンドポイントのタイプ (CTS、Cisco Codec、MX、E20、MXP、または Polycom) に基づいてデータが表示されます。	Endpoint Name	識別を容易にするためにエンドポイントに割り当てられた名前。
	Directory Number	エンドポイントで定義されている IP Phone の詳細。
	コール コントローラ	
	CUCM Address	エンドポイントが登録される、Cisco Unified CM サーバのホスト名または IP アドレス。
	CUCM Cluster ID	Cisco Unified CM サーバが登録されている Cisco Unified CM クラスタの ID。
	VCS Address	エンドポイントが登録されている VCS サーバのホスト名または IP アドレス。
	VCS Cluster ID	VCS サーバが登録されている VCS クラスタの ID。
	Registration Status	コール プロセッサ (Cisco Unified CM または VCS) でのエンドポイントの登録ステータス。Cisco Unified CM または VCS が管理対象ではない場合は、表示される情報は [N/A] です。
	H323 ID	Cisco Codec デバイスで設定されている H.323 ID。
	E164 No	Cisco Codec デバイスで設定されている E164 番号。
	H323 Gatekeeper Address	Cisco Codec が登録されているゲートキーパーのネットワーク アドレス。
	SIP URI	Cisco Codec デバイスで登録されている SIP URI。
	SIP Proxy Address	Cisco Codec デバイスで手動設定されている SIP プロキシアドレス。
	アプリケーション マネージャ	
	CTSMAN	CTS が統合されるアプリケーション マネージャのホスト名または IP アドレス。
	TMS	Cisco Codec が統合されるアプリケーション マネージャのホスト名または IP アドレス。
	スイッチの詳細	
	Connected To Switch	エンドポイントが接続されているスイッチの詳細。
	Port Connected	エンドポイントが接続されているスイッチ ポートの詳細。
	Peripherals	Name
Position		マイクの <i>front_center</i> など、ペリフェラルの位置。
MAC Address		ペリフェラルの MAC アドレス。
Software Version		ペリフェラルで実行されているソフトウェア バージョン。
Model		ペリフェラルのモデル。
Serial		ペリフェラルのシリアル番号。
Make		ペリフェラルのメーカーの詳細。
Firmware Version		ペリフェラルのファームウェア バージョン。
Hardware Version		ペリフェラルのハードウェア バージョン。
Midlet Version		ペリフェラルで実行されている Midlet バージョン。



(注) Prime CM は、Cisco TelePresence 150 MXP のペリフェラル詳細をサポートしません。

Cisco TelePresence Movi

フィールド	説明	
Movi	Endpoint Name	識別を容易にするためにエンドポイントに割り当てられた名前。
	SIP URI	Cisco TelePresence Movi エンドポイントで登録されている SIP URI。
	VCS Address	エンドポイントが登録されている VCS のホスト名または IP アドレス。
	VCS Cluster ID	VCS が登録されている VCS クラスターの ID。

Cisco Unified IP Phone 8900 および 9900 シリーズと Cisco Cius

フィールド	説明	
CUCM Endpoint	Endpoint Name	識別を容易にするためにエンドポイントに割り当てられた名前。
	Model	CP-8945 や CP-9971 などのエンドポイントのモデル。
	Directory Number	エンドポイントで定義されている IP Phone の詳細。
	Serial Number	エンドポイントのシリアル番号。
	Description	コール プロセッサで定義されているエンドポイントの説明。
	コール コントローラ	
	CUCM Address	エンドポイントが登録されている、Cisco Unified CM サーバのホスト名または IP アドレス。
	CUCM Cluster ID	Cisco Unified CM サーバが登録されている Cisco Unified CM クラスターの ID。
	Registration Status	コール プロセッサ (Cisco Unified CM) でのエンドポイントの登録ステータス。Cisco Unified CM が管理対象ではない場合は、表示される情報は [N/A] です。
	スイッチの詳細	
	Connected To Switch	エンドポイントが接続されているスイッチの詳細。
	Port Connected	エンドポイントが接続されているスイッチ ポートの詳細。
	Network Configuration	Wi-Fi の詳細
Status		接続や未接続などの Wi-Fi 接続のステータスを表示します。
IP Address		Wi-Fi ネットワークを使用して接続する際に、エンドポイントの管理に使用する IP アドレス。
Default Router		エンドポイントが接続されているデフォルト ルータの IP アドレス。
Access Point Name		エンドポイントが接続されているアクセス ポイントの名前。
イーサネットの詳細		
Status		接続や未接続などのイーサネット接続のステータスを表示します。
IP Address		イーサネットを使用して接続する際に、エンドポイントの管理に使用する IP アドレス。
Default Router		エンドポイントが接続されているデフォルト ルータの IP アドレス。

Cisco Cius エンドポイントのみのデータが表示されます。



(注) Cisco Cius と Cisco Unified IP Phone 8900 および 9900 シリーズの検出では、HTTP インターフェイスを有効にする必要があります。HTTP インターフェイスが有効になっていないと、これらのデバイスはインベントリ テーブルに表示されません。

CTMS

フィールド	説明	
Multipoint Switch	Timezone	マルチポイント スイッチで設定されたタイムゾーン。
	SKU	—
	Hardware Model	マルチポイント スイッチが実行されているメディア コンバージェンス サーバの型番。
	Software Version	管理ソフトウェアが現在インストールしているマルチポイント スイッチのバージョン。
	OS Version	オペレーティング システム (OS) バージョン。
	Hostname	マルチポイント スイッチに設定されているホスト名。
	IP Address	マルチポイント スイッチの管理に使用される IP アドレス。
	Subnet Mask	IP アドレスで使用されるサブネット マスク。
	MAC Address	マルチポイント スイッチ ソフトウェアが実行されているメディア コンバージェンス サーバの MAC アドレス。この MAC アドレスは、イーサネット インターフェイス 0 (eth0 ネットワーク インターフェイス カード (NIC)) に属します。フェールオーバーでは、この MAC アドレスは、別のイーサネット インターフェイスがアクティブになっても保持されます。
	スイッチの詳細	
Connected To Switch	マルチポイント スイッチが接続されるスイッチの詳細。	
Port Connected	マルチポイント スイッチが接続されるスイッチ ポートの詳細。	
Ad hoc Segments	緊急会議で使用可能なセグメントの最大数。最大値は 48 です。	
Maximum Segments	このマルチポイント スイッチが処理できるセグメント (個々のビデオ ディスプレイ) の合計数。最大値は 48 です。	
Schedulable	スケジュール済み会議で常に使用できるセグメントの数。マルチポイント スイッチは、[Maximum Segments] で定義されている数値から [Ad Hoc Segments] で定義されている数値を減算して、この値を自動的に定義します。	

CTS-Manager および TMS

フィールド	説明	
Application Manager	SKU	—
	Hardware Model	アプリケーション マネージャが実行されているサーバの型番。
	Software Version	現在インストールされている管理ソフトウェアのバージョン。
	OS Version	オペレーティング システム (OS) バージョン。
	Hostname	アプリケーション マネージャに設定されているホスト名。
	IP Address	アプリケーション マネージャの管理に使用される IP アドレス。
	Subnet Mask	IP アドレスで使用されるサブネット マスク。
	MAC Address	アプリケーション マネージャに提供される MAC アドレス番号。
System Connectivity (下記の注を参照)	Exchange Server : これらの詳細情報は、CTS-Manager でカレンダー サービス (スケジューリング API モード) が設定されている場合にのみ表示されます。	
	Status	Exchange サーバが実行しているか、ダウン状態かを示します。
	IP Address	Exchange サーバに割り当てられる IP アドレス。
	Software Version	Exchange サーバに現在インストールされているソフトウェアのバージョン。
	LDAP Server : これらの詳細情報は、CTS-Manager で Active Directory が設定されている場合にのみ表示されます。	
	Status	LDAP サーバが実行しているか、ダウン状態かを示します。
	IP Address	LDAP サーバに割り当てられる IP アドレス。
	Software Version	LDAP サーバに現在インストールされているソフトウェアのバージョン。



(注)

CTS-Manager の場合、[System Connectivity] ペインは CTS-Manager 1.7 および 1.8 に対してのみ表示されます。また、Prime CM アプリケーションで設定された CTS-Manager ユーザは、CTS-Manager で管理者権限を持っている必要があります。

Cisco Unified CM

フィールド	説明	
Call Processor	Cluster ID	クラスタの一意の ID を提供するパラメータ。このパラメータは呼詳細レコード (CDR) で使用されます。これにより、複数のクラスタから収集された CDR レコードも、それらの発信元を追跡できます。デフォルトは StandAloneCluster です。
	Publisher Hostname	クラスタ パブリッシャに設定されているホスト名。
	Registered CTS Endpoints	コール プロセッサに登録されているエンドポイントの数。
	Total CTS Endpoints	エンドポイントの合計数。

MCU および MSE

フィールド	説明		
MCU or MSE Details 選択した会議デバイス (MCU または MSE) に基づいてデータが表示されます。	Hardware Model	マルチポイント スイッチが実行されているメディア コンバージェンス サーバの型番。	
	Serial Number	MCU のシリアル番号	
	Software Version	管理ソフトウェアが現在インストールしているマルチポイント スイッチのバージョン。	
	MCU Type/Device Type	MCU またはデバイスのタイプ。	
	Build Version	インストールされているソフトウェアのビルドバージョン。	
	Manufacturer	メーカー名。	
	Hostname	デバイス (MCU または MSE) で設定されているホスト名。	
	IP Address	MCU または MSE の Web ユーザ インターフェイスにアクセスするために使用される、MCU または MSE のネットワーク インターフェイスのローカル IP アドレス。	
	Subnet Mask	IP アドレスで使用されるサブネット マスク。	
	MAC Address	イーサネット ポートの固定ハードウェア MAC アドレス。	
	Connected To Router	MCU または MSE が接続されているルータの IP アドレス。	
	Cluster Type	クラスタがマスターかスレーブかを示します。クラスタが設定されている場合は、[Not Configured] が表示されます。	
	Total Video Ports	MCU で設定されているビデオ ポートの数。 MCU デバイスの場合のみ表示されます。	
	Total Audio Ports	MCU で設定されている音声ポートの数。 MCU デバイスの場合のみ表示されます。	
	SIP (MCU デバイスの場合のみ表示されます)		
	Status	SIP の登録がイネーブルかディセーブルかを示します。	
	Proxy	SIP プロキシのネットワーク アドレス。	
	Domain	MCU が登録されている SIP レジストラのネットワーク アドレス。	
	H323 (MCU デバイスの場合のみ表示されます)		
Status	H.323 ゲートキーパーの登録がイネーブルかディセーブルかを示します。		
Gatekeeper ID	H.323 ゲートキーパーへの登録時に MCU で使用される ID。		
Gatekeeper Address	MCU が登録されているゲートキーパーのネットワーク アドレス。		
MSE Blades MSE のみのデータが表示されます。	Type	ブレードのタイプ。	
	Slot	スロット番号。Slot 1 は MSE Supervisor、2 ~ 10 はブレードです。	
	Software Version	使用されているソフトウェアのバージョン。	
	Status	ブレードのステータス (OK または空)。	
	Port A IP Address	Port A の IP アドレス。	
	Port B IP Address	Port B の IP アドレス。	

Cisco VCS

フィールド	説明	
Call Processor	Cluster ID	VCS の個々のクラスタを識別するためのクラスタ名。
	Master	クラスタ マスターとして設定された VCS ピアの名前。
	Registered Endpoints	VCS に登録されているエンドポイントの数。
	Peers	クラスタ内で設定されている VCS ピアの数。
VCS Configuration	Timezone	VCS で設定されているタイムゾーン。
	Maximum Traversal Calls	VCS で利用可能なトラバーサル コール ライセンスの数。
	Maximum Non-Traversal Calls	VCS で利用可能な非トラバーサル コール ライセンスの数。
	Maximum Registrations	VCS に登録可能なエンドポイントの数。
	Expressway	VCS Expressway が設定されているかどうかを示します。
	Interworking	H.323 システムから SIP システムへ接続できるように VCS が設定されているかどうかを示します。
	Encryption	このソフトウェア ビルドで AES 暗号化が利用可能かどうかを示します。
	Find Me	FindMe がイネーブルかディセーブルかを示します。
	Device Provisioning	VCS でプロビジョニング サーバがイネーブルかどうかを示します。
	Dual Network Interface	VCS Expressway 上で LAN 2 インターフェイスがイネーブルかどうかを示します。
Starter Pack	Starter Pack オプション キーがインストールされているかどうかを示します。	

Cisco TelePresence Conductor

フィールド	説明	
TelePresence Conductor	Name	コンダクタに設定されたホスト名。
	IP Address	コンダクタの IP アドレス。
	Software Version	現在インストールされているソフトウェアのバージョン
	Cluster Master	クラスタ マスターとして設定されたコンダクタ ピアの名前。
	Cluster Peers	クラスタ内で設定されているコンダクタ ピアの数。
	Total Registered MCUs	コンダクタに登録されている MCU の数。
	Software ID	コンダクタ上のソフトウェアの ID。
	Hardware Serial Number	コンダクタ ハードウェアのシリアル番号。

フィールド	説明	
Registered MCUs	Name	コンダクタに登録されている MCU の名前。
	IP Address	コンダクタに登録されている MCU の IP アドレス。
	Type	コネクタに登録されている MCU のタイプ。
	Pool	MCU クライアントが属する MCU プール。
	Blacklisted	リストされた MCU はコンダクタでは使用されません。
	Blacklisted Reason	その MCU がコンダクタで使用されない理由。
	Media Load: Allocated/In Use/ Max Available	割り当て済み、使用中、および使用可能な最大のメディア ロード。
	Signalled Load: Allocated/In Use/ Max Available	割り当て済み、使用中、および使用可能な最大のシグナル ロード。



(注) Cisco TelePresence Conductor が制御する MCU のカスケードのみがサポートされます。

インベントリの更新

Update Inventory タスクは、Prime CM インベントリ データベースとネットワークを同期化します。このタスク中、アクセシビリティ検証は実行されません (図 14-1 を参照)。

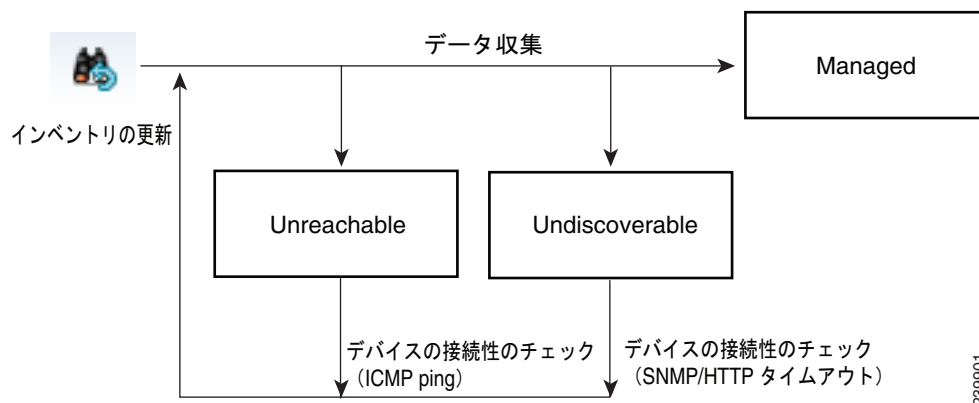
Update Inventory タスクは、Prime CM で管理されるすべてのデバイスで実行されます。選択された一部のデバイスでのみインベントリを更新することはできません。

Update Inventory タスクは、ネットワーク デバイス インターフェイスで変更があった場合に実行します。Discovery タスクは、デバイス設定で変更があった場合に実行します。たとえば、ソフトウェアイメージの更新、最初のホップ ルータ設定の変更などです。

デバイス クレデンシヤルに何らかの更新がある場合は、クレデンシヤル プロファイルを更新した後、そのデバイスに対して検出を実行する必要があります。

検出ジョブをスケジューリングするには、「デバイスの検出」(P.12-1) を参照してください。

図 14-1 Update Inventory のライフサイクル



定期的なインベントリ更新ジョブを定義して、Prime CM データベースを最新の状態にすることを推奨します。

インベントリを更新するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Inventory] > [Device Inventory] を選択します。
[Device Inventory] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Update Inventory] をクリックします。
[Refresh Inventory] ページが表示されます。
定期的な更新インベントリ ジョブをスケジューリングするか、このジョブを即時に実行できます。
ジョブを即時に実行するには、**ステップ 5**に進みます。
- ステップ 3** ジョブ名を入力します。
- ステップ 4** スケジューリングの詳細を入力します。
- [Start Time] : [Start Time] を選択して、開始日と開始時刻をそれぞれ yyyy/MM/dd および hh:mm AM/PM 形式で入力します。あるいは、カレンダーから開始日時を選択する場合、日付ピッカーをクリックできます。表示される時刻は、クライアント ブラウザの時刻です。スケジューリングされた定期的ジョブは、この指定時刻に実行されます。
 - [Recurrence] : [None]、[Hourly]、[Daily]、[Weekly]、[Monthly] を選択して、ジョブ期間を指定します。
 - [Settings] : ジョブ期間の詳細を指定します。
 - [End Time] : 終了日時を指定しない場合は、[No End Date/Time] をクリックします。[End at] をクリックして、終了日と終了時刻をそれぞれ yyyy/MM/dd および hh:mm AM/PM 形式で入力します。
- ステップ 5** [Run Now] をクリックして、インベントリ更新ジョブをすぐに実行するか、[Schedule] をクリックして、定期的なインベントリ更新ジョブを後でスケジューリングします。
[Inventory] ページの [List Discovery Jobs] ボタンを使用して、ジョブのステータスをチェックできます。
[Job Management] ページに、検出ジョブのリストが表示されます。
-

管理対象デバイスの一時停止およびレジューム

管理対象状態のデバイスを一時停止できます。デバイスが一時停止状態になると、Prime CM はこのデバイスをモニタしなくなります。つまり、この状態のデバイスのセッション、エンドポイント、インベントリ詳細は更新されず、これらのデバイスにアラームがトリガーされなくなります。

次に、一時停止状態のデバイスの動作を示します。

- デバイスが一時停止状態の場合、Prime CM はデバイスをポーリングしません。
- 一時停止されたエンドポイントが新しいセッションに参加する場合、[Session Topology] ペインでは、そのエンドポイントが [Unknown] として表示されます。
- 一時停止されたエンドポイントがすでに進行中のセッションに参加している場合は、エンドポイントの状態が [Suspended] に変更された直後に、([Session Topology] ペインの) エンドポイントアイコンが [Unknown] に変更されます。
- CTS-Manager が一時停止の場合、新しいセッション データはインポートされません。CTS-Manager ポーリングは、実行されません。既存のセッション データ (最後にポーリングされたデータ) が、Prime CM サーバに表示されます。
- Cisco Unified CM パブリッシャが一時停止の場合、Prime CM は、対応する Cisco Unified CM クラスタに属する登録済みエンドポイントをポーリングしません。

- アクティブ アラームがある場合、すぐにはクリアされません。アラームは手動でクリアできます。手動でクリアしない場合、有効期限が切れた後で、アラームは自動的にクリアされます。デフォルトでは、24 時間です。一時停止されたデバイスでは、新しいアラームはトリガーされません。
- 一時停止されたエンドポイントがトラブルシューティング ジョブにある場合、一時停止されたエンドポイントからトラブルシューティングを実行することはできません。ただし、一時停止されたエンドポイントにトラブルシューティングを実行することはできます。
- デバイスが一時停止状態の場合、エンドポイント使用率レポートには、このデバイスのデータは含まれません。

管理対象デバイスを一時停止するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Inventory] > [Device Inventory] を選択します。
[Inventory] ページが表示されます。
- ステップ 2** 管理対象状態にあるデバイスを [Current Inventory] テーブルから選択します。
- ステップ 3** [Suspend Management] をクリックします。
「Selected devices suspended successfully」というメッセージが表示されます。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。
[Current Inventory] テーブルがリフレッシュされ、デバイス ステータスが更新されます。
-

一時停止されたデバイスの管理をレジュームするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Current Inventory] テーブルから、状態が [Suspended] であるデバイスを選択します。
- ステップ 2** [Resume Management] をクリックします。
「Selected devices resumed successfully」というメッセージが表示されます。
- ステップ 3** [OK] をクリックします。
[Current Inventory] テーブルがリフレッシュされ、デバイス ステータスが更新されます。
-

インベントリのエクスポート

[Inventory] ページの [Export Inventory] ボタンを使用すると、エンドポイントおよびインフラストラクチャ デバイス (CTS-Manager、Cisco Unified CM、CTMS、Cisco TMS など) のインベントリ詳細をエクスポートできます。エクスポートデータの対象となるのは、デバイスの状態 ([Managed]、[Unmanaged] など) を問わず、すべてのエンドポイントおよびインフラストラクチャ デバイスに関するデータです。

エクスポートされたデータは、CSV 形式で使用できます。

エクスポートされるインベントリ データの詳細については、「[インベントリ詳細の表示](#)」(P.14-1) を参照してください。エクスポートされるデータには、デバイス クレデンシャル詳細 (アクセス情報) は含まれません。

デバイスの削除

状態が [Unknown]、[Unreachable]、[Inaccessible]、[Undiscoverable]、[Suspended]、[Unsupported] のデバイスは削除できます。[Managed] 状態のデバイスは削除できません。

デバイスが削除されると、[Current Inventory] テーブルにはリストされなくなりますが、Prime CM サーバから詳細を確認することができます。

そのデバイスを再検出した場合や、Cisco Unified CM、CTS-Manager、TMS、または VCS の検出が行われる際にそのデバイスが自動的に検出された場合は、そのデバイスの現在の接続状態とクレデンシャルに基づいてデバイスの状態が更新されます。Prime CM では、削除されたデバイスの自動検出が防止されていません。

削除されたデバイスの再検出を行うには、「[削除されたデバイスの再検出](#)」(P.12-9) を参照してください。過去のセッション データの一部として、削除されたデバイスの詳細にアクセスできます。

デバイスを削除する手順は、次のとおりです。

-
- ステップ 1** [Inventory] > [Device Inventory] を選択します。
[Device Inventory] ページが表示されます。
 - ステップ 2** [Current Inventory] テーブルからデバイスを選択します。
クイック フィルタを使用して、希望する状態のデバイスのリストを取得できます。
 - ステップ 3** [Delete] をクリックします。
「Selected devices deleted successfully」というメッセージが表示されます。
 - ステップ 4** [OK] をクリックします。
[Current Inventory] テーブルが更新され、削除されたデバイスの名前がこのテーブルから削除されます。
-

